

令和4年度「八代市学校・子ども教育応援基金」の活用状況

お寄せいただきました寄附金につきまして、令和4年度においては、子どもたちの学びを支援するための事業として、次の事業へ、総額 676,796 円を活用させていただきました。



ICT 教育推進モデル校事業（第二中学校）

ICT 活用を意識した研究授業及びその研究会を行いました。音楽科においては、ICT を活用し、琴を弾いている様子をタブレットで録画して確認し、よりよい弾き方について考えました。理科においては、スタディサプリの活用やグループ活動での ICT 活用に取り組みました。研究会では、今後の効果的な ICT 活用について協議を行ったり、先生方が授業で取り組まれている活用方法について紹介し合ったりしました。また、ICT 環境設備を整えることとして、プロジェクターとスクリーンの常設化に伴い、板書スペース確保のため各教室にホワイトボードの設置や特別教室等へ電子黒板・プロジェクターの設置を行いました。【寄附金充当額 84,720 円】

ICT 教育推進校事業（坂本中学校）

授業改善を目指した9本の参観授業を行いました。そのうち2本は市から外部講師を招き、実際の授業でタブレットの活用のポイントが検証できました。振り返りを行い、まとめ、他校に取組を知らせました。生徒の意見を汲み上げることで活動の意欲が増し、他者に上手く伝わるよう工夫をするようになり、表現力もついてきたようです。回を重ねるごとにお互いに新しい発見ができました。また、学校情報化優良校にも認定されました。

【寄附金充当額 29,996 円】

ICT 教育推進校事業（日奈久小学校）

校内研修において職員の ICT 活用研修を実施しました。スタディサプリアやジャムボード等、授業中や家庭学習での活用場面を想定し、職員の ICT 活用スキルが向上しました。職員全員が研究授業を実施し、児童が問いを持つ場面や学び合いの場面、振り返りの場面等で必ず ICT を活用する場面を取り入れたことで、職員の授業改善や授業力向上に役立ちました。また、学校の情報化にも取組が進んだことで、学校情報化優良校に認定されました。【寄附金充当額 29,949 円】

ICT 教育推進校事業（高田小学校）

1年間を通して、担任全員が研究授業を行い、授業改善を行いました。効果的な ICT 機器の活用を目指し、ICT についての自主研究会を行うなど、全職員の授業力向上に向け、取り組みました。その結果、職員一人一人の ICT 機器活用の幅が広がり、効果的な活用にもつながり、児童一人一人の活用にもつながってきています。令和4年9月には、学校情報化優良校に認定されました。

【寄附金充当額 27,500 円】

ICT 教育推進校事業（日奈久中学校）

クラウドで学習を振り返ることを通して、自己の成長や自己肯定感を感じさせる取組を行いました。宿題の取組に ICT を活用したり、集会や行事で生徒によるプレゼン発表を行ったりしました。また、全職員でタブレット端末を活用した授業実践を行い、一覧表にまとめ、情報交換を行いました。令和4年10月には、学校情報化優良校に認定されました。

【寄附金充当額 30,000 円】

ICT 教育推進校事業（鏡小学校）

ICT 機器活用により、視覚的・聴覚的に児童の理解が進むことが多くありました。タブレット PC の活用により、児童が興味をもって学習に取り組み、学級全員での思考の共有をしやすくなりました。ICT の様々な機能を授業の中でどのように活用するかの実技研修を行い、教師のスキルアップにもつながりました。

【寄附金充当額 30,000円】

不登校児童生徒の教育支援事業

「オリジナルカレンダー」の制作は、集中力や忍耐力を育み、人間関係づくりを学ぶ機会となっています。完成したオリジナルカレンダーを保護者や、お世話になった関係団体等に配付し、感謝の気持ちを伝えることは、通級生自身の自己有用感も高めるよい機会となりました。このような取組を通して、自主・自立的な生活できるような力を育て、社会的自立を目指します。

【寄附金充当額 64,719円】

歯と口の健康づくり事業（宮地小学校）

児童保健委員会を中心に、児童同士の関わり合いをとおして、全校児童へ歯と口の健康について啓発を行い、楽しく学ぶことができただけでなく、歯と口の健康に対する意識も高めることができました。養護教諭による個別のブラッシング指導や、学級活動で歯垢の染め出しを活用した歯みがきの練習を行ったことで、丁寧に歯みがきを行うおうとする意識の向上が見られました。また、地域学校保健委員会を開催し、小・中学校の歯科保健の課題を保護者と教職員で共有しました。

【寄附金充当額 33,952円】

QUテスト拡充事業（八千把小学校）

1・2年生を対象に年2回ハイパーQUテストを実施しました。10月に1回目のテストを実施し、結果を分析し、学年間でも共有したことにより学級経営だけでなく学年経営の見直し及び改善につながりました。その直後に「心のアンケート」をもとにした教育相談を実施したことで、アンケートには表れてこない児童一人一人の困り感等にも踏み込んだ話ができ、児童がより相談しやすい体制ができました。1月に2回目のテストを実施し、結果について、業者による専門的な視点で説明をしていただき、新年度に向けての参考となりました。

【寄附金充当額 252,080円】

QUテスト拡充事業（郡築小学校）

1・2年生を対象にハイパーQUテストを2回実施しました。1回目の結果は、各学級の児童の実態を客観的に捉えるとともに各学級での問題解決に向けた取組を学校全体で進めていく資料として役立ちました。3月上旬に2回目を実施したところ、「学校が楽しい」と肯定的に回答した児童が増え、年度当初に比べて安心して学校生活を送ることができていることが明らかになりました。

【寄附金充当額 39,600円】

QUテスト拡充事業（有佐小学校）

心のきずなを深める月間の取組や教育相談などの活動を行いながらQUテストを実施し、生徒指導や学級経営等を振り返ることができました。児童の学級生活満足度を向上させることができ、全体的に落ち着いた学校生活を送り、学年が上がるにつれて学習に集中して取り組むことができています。

【寄附金充当額 30,360円】

QUテスト拡充事業（泉小学校）

全学年を対象にハイパーQUテストを2回実施しました。友人や学級との関係、学習意欲などの面で、児童一人一人がどのような考えを持っているのか、集団形成に必要な対人関係を営むためのソーシャルスキルが児童一人一人にどの程度身に付いているのかを把握することができました。また、学校満足度や学校生活意欲等に係る現在の学級集団の状況や児童一人一人の様子を把握することができました。

【寄附金充当額 23,920円】